

令和6年度入学 一般選抜前期日程

論説 講評

若者の居場所を題材にした問題である。資料として、若者を対象として内閣府が行ったアンケート調査の結果から作成した図と、居場所とはどのようなものかについての解釈を述べている文章を提示した。これらの資料に示されている事象や情報を的確に把握できているか、把握した事柄を整理して表現できているか、与えられた条件を的確に把握した上で、高等学校等での学習や自身の経験を資料の内容と関連付けて課題解決への道筋を考察し、論述する力があるかをみることを主な目的とした。

問1

【出題のねらい】

(1)は、若者にとって居心地が良いと感じる場所の特徴と、他者との関わり方の特徴を読み取る問いである。(2)は、若者にとっての他者との関わりと生活の充実度を読み取る問いである。(3)は、困難に直面した際の若者の行動上の特徴を読み取る問いである。与えられた資料から注目する事象や情報を的確に把握する力、把握した事柄を簡潔に記述する力を評価した。

【講評】

(1)、(2)、(3)のいずれも、解答状況は全体的に良好であった。他方で、資料の深読みや独自の解釈など、資料から読み取ることができない内容に基づく解答、資料の全体ではなく一部分の特徴のみを読み取った解答も散見された。与えられた資料から注目する事象や情報を的確に把握する問いでは、資料からどこまで言えるかを吟味し、重要事項にポイントを絞って論述してほしい。

問2

【出題のねらい】

資料から居場所の特徴を読み取り、これらの内容を整理して表現する問いである。与えられた複数の資料（文章）を読み取り、内容を把握する力、その内容を再編し、文章で表現する力を評価した。

【講評】

解答状況は、全体的にまずまずであった。問いと資料（文章）から適切な箇所を抽出することはできているが、それらの内容を再編することについては、総じて得点が低かった。また、前問に引けられて特定の部分のみに注目する読み取りや、主観的な解釈のみを述べる解答も散見された。このような、複数資料に基づいて特定の視点からまとめを行う問いでは、何が問われているかとい

う題意を正確に把握した上で資料を読み取り、その内容を整理し（関連付け、又は統合し）、その内容の適切性・妥当性を点検することを意識してほしい。日頃から、一つの文章を読み込むことに加えて、複数の文章からの読み取り内容を整理するように心掛けることが有効である。

問 3

【出題のねらい】

家庭、学校、地域、インターネット上など特定の場所を取り上げ、それらを若者が望む居場所にする上での課題と解決策を、必要な資料と関連付けて論理的に記述する問いである。与えられた文章や資料から課題を見だし、高等学校等での学習や自身の経験と関連付けながら、解決への道筋を考察し、それらを論理的な文章にまとめる力を評価した。

【講評】

解答状況は、全体的に良好であった。しかし、題意を正確に理解できていない解答、与えられた文章や資料をふまえずに課題を設定している解答、アイデアの内容が具体的に述べられていない解答もしばしば見受けられ、大幅な減点の対象になった。解答に取り掛かる前には、落ち着いて、問題の意味を正確に把握することに努めてほしい。